

・現在、国立科学博物館で開催された大絶滅展がFUJIなごや科学館においても開催されています。最後のエピソードで、別府湾の海底の地層の薄片試料が公開されています。人新世の始まりを定義する標準模式層であり、地質学的に変貴重な試料となっています。現在は第6の大量絶滅が進行中で、地球の生物相など、地球環境が大きく変わろうとしています。そうした現代の私たち人類の時代を人新世という地質時代区分として設定しようという国際的な動きがあります。地球史における人新世の到来は、大絶滅展のもう一つのテーマとなっています。ぜひご観覧ください。

